

戦評

北海道バスケットボール協会

大会名	第69回北海道道民バスケットボール大会														
平成29年7月9日(日) 13時00分	場所: 北翔大学体育館														
勝ちチーム名	—		負けチーム名												
Thirty Girls	79	<table border="1"> <tr><td>21</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>21</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>17</td><td>—</td><td>18</td></tr> <tr><td>20</td><td>—</td><td>27</td></tr> </table>	21	—	11	21	—	17	17	—	18	20	—	27	73 アカシヤクラブ
21	—	11													
21	—	17													
17	—	18													
20	—	27													

男子	<input checked="" type="checkbox"/> 女子	3決	準々決勝	準決勝	<input checked="" type="checkbox"/> 決勝
<p>準決勝を順当に勝ち上がったアカシヤクラブ（以下アカシヤ）とサーティーガールズ（以下サーティ）。道民大会では3大会ぶりに決勝で顔を合わせた。互いに手の内を知り尽くしてはいるが、ベテランだけでなく、新戦力の活躍にも期待したい。</p> <p>1P アカシヤ#2#4#11#16#18 サーティ#7#17#18#27#77、ディフェンスはアカシヤが2-3ゾーン、サーティはマンツーマンでスタート。サーティ#7のリバウンドシュートで先制するがアカシヤ#2がスリーポイントシュートを決め返す。互いにシンプルなシュートが高確率で決まる。それでもサーティはセカンドチャンスや#17のスリーポイントが決まってリズムを掴む。アカシヤは#18から#2のハイローが決まるが、思うように外角のシュートが決まらず、サーティ21-11アカシヤで第1ピリオドが終了する。</p> <p>2P サーティは出だしから#77のポストムーブやインサイドでの合わせなどで点差を広げる。アカシヤはオフェンスの動きが止まってタフショットになる。その間、サーティ#27のゴール下が決まる。アカシヤは残り4分を切ってから#18のミドルシュートや#15#11のスリーポイントが決まり一矢報いる。サーティ42-28アカシヤで前半が終了する。</p> <p>3P 両チーム、スターティングメンバーに戻る。ディフェンスもアカシヤ2-3ゾーン、サーティはマンツーマン。アカシヤのディフェンスがインサイドを警戒して収縮するところをサーティ#17や#18が確実にスリーポイントを決める。アカシヤは#4がディフェンスのブラインドを突いて連続得点。さらには#1がスティールからスリーポイントを決める。#16が速攻からレイアップを決めて残り1分サーティ56-42アカシヤとなったところでサーティがタイムアウトを取る。互いに疲れの見え始めてきたなか、アカシヤ#4と#16がしぶとくジャンプシュートを決めて、サーティ59-46アカシヤで第3ピリオドが終了する</p> <p>4P 点差を縮めたいアカシヤは積極的にスリーポイントを狙う。#2が連続で決めて残り5分で点差を7点に縮める。息を吹き返したアカシヤはディフェンスのプレッシャーを強めてサーティにシュートを打たせない。互いに疲れから膠着状態が続いたが、サーティ#17のバスケットカウントが決まり再び10点差に。それでもアカシヤは#1のスリーポイントや#2がセカンドチャンス残り2分4点差にする。サーティ#27のゴール下が決まって1分42秒で6点差に。アカシヤはタイムアウト取って逆転を狙う。タイムアウト後#1のスリーポイントが決まるが、最後は冷静な判断で79-73とサーティが逃げ切った。</p>					
記録者	宮武浩之		所属	強化委員会	